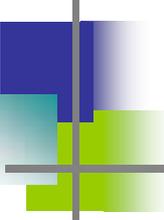


造形的な創造活動にみられる 子どもの学びの過程

上越教育大学 学習臨床コース
学習過程臨床分野 学部4年
高木三智子



1. 研究の背景～研究のきっかけ～

- 小学校教育実習で**小学2年生**を担当した。
- 教育実習期間以降も継続し、**参与観察**を行った。
- 特に**図画工作の時間**において、子どもの学びのスタイルの違いが見られた。
- 児童の多くは、友達と話をしながら学んでいる。しかし、**児童Yは一人で学び**に没頭していた。

1. 研究の背景～注目した児童Yの特徴～



児童Y

- 観察当初, 制作活動に没頭する一人**学び**の児童である。
- 作品への愛着が見られる。
- 図画工作が大好きである。
- 特に**絵を書く活動**が大好きである。

1. 研究の背景～先行研究～

池田(2001)

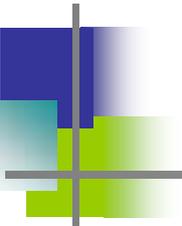
「低学年の子どもの学び」の研究から、他者の理解の芽生えが急速に発達していること

⇒ 観察初期では、一人学びの児童Yであるが、
これから**他者と関わる学び**へと変容するだろう。

新潟大学教育学部附属長岡中学校(1987・学校研)

「相互に学びあう」ことにより、一人一人のやる気を助長し、より良い表現ができること

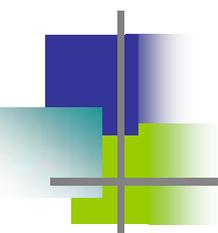
⇒ 他者と関わる学びにより、
児童Yの学びがいっそう深まるだろう。



1. 研究の目的

一人学びをしている児童Yに注目し、
「一人学びから相互に関わり合う学びへと
変容する過程」を明らかにする。

2. 調査の概要



調査対象

- ・新潟県公立小学校 児童Y

調査方法

- ・ビデオカメラ, カセットテープレコーダー, ICレコーダーにより, 児童Yの音声と映像を記録した。

2. 調査の概要

調査期間

- ・2002年10月～2003年11月
（児童Y:2年生～3年生）

{	2年生:2003年	1月～2月	計9時間
	3年生:2003年	4月～5月	計4時間
		:2003年	10月～11月

2. 調査の概要

調査単元

- ・ 図画工作科，絵画制作活動及び工作活動

2年生：「自分の知っている物語の絵を書こう」

「まどをあけると・・・」

3年生：「手形」

「ともだちをかこう」

「学校生活の様子」

「100年後の世界」

3. 結果 学びの様相の変容

分析の視点

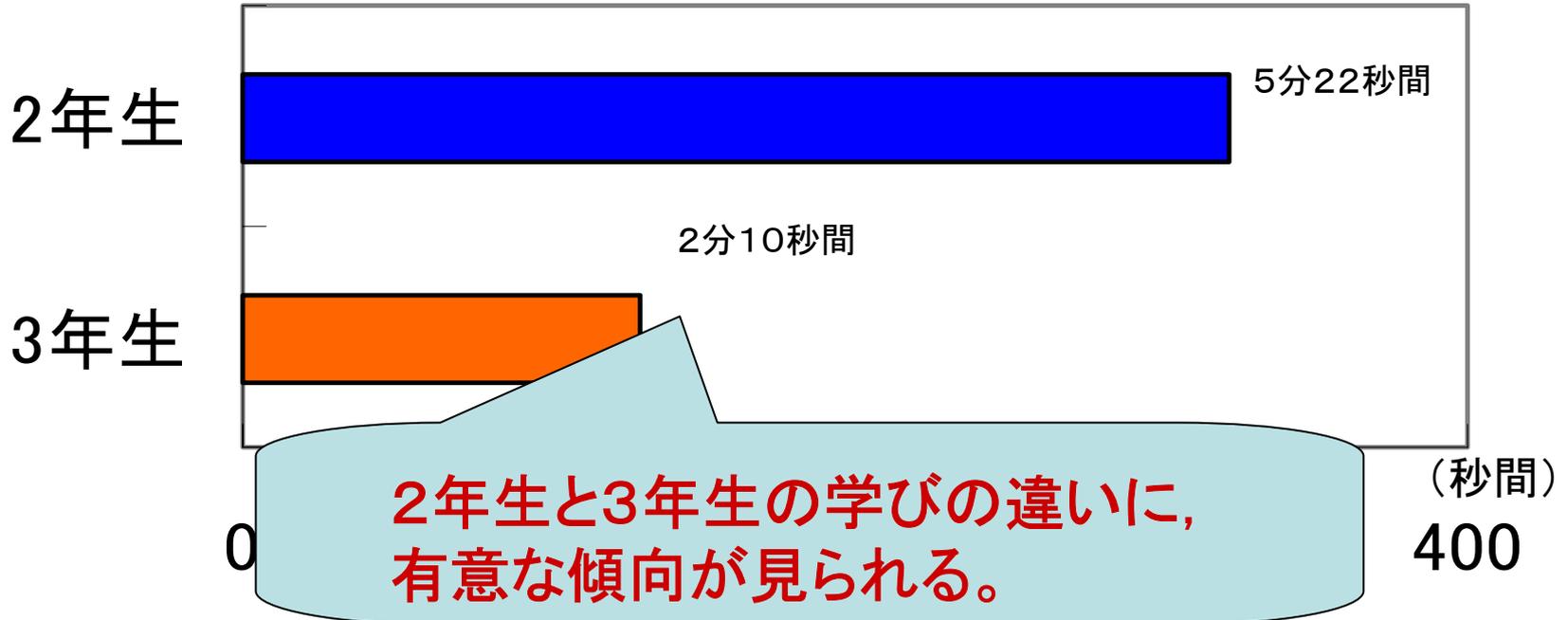
分析	分析内容	小学2年生	小学3年生
①	連続して制作する平均時間	5分22秒間	2分10秒間
②	主に関わる他者	教師	友達
③	友達の作品を見る平均時間	5秒間	34秒間
④	友だちとの関わり		

3. 結果 学びの様相の変容

分析① 連続して制作する時間の変容

分析	分析内容	小学2年生	小学3年生
①	連続して制作する平均時間	5分22秒間	2分10秒間
②	主に関わる他者	教師	友達
③	友達の作品を見る平均時間	5秒間	34秒間

分析① 連続して制作する時間の変容



【図 一授業時間あたり、連続して制作する平均時間】

分析① 2年生

友達からの関わりに対する具体的事例

R

<Y・・・本人, R・・・友達>

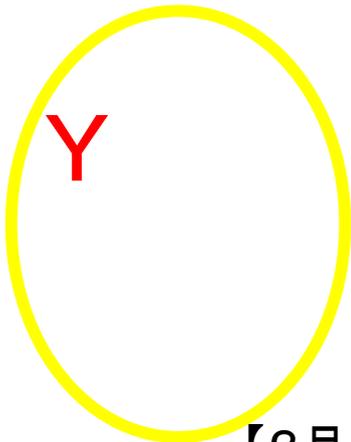
R: (Yの絵を見ながら)
りゅうがいる。

Y: (少し顔を上げて)
ももたろうだよ。

R: ももたろうにりゅうがいる。



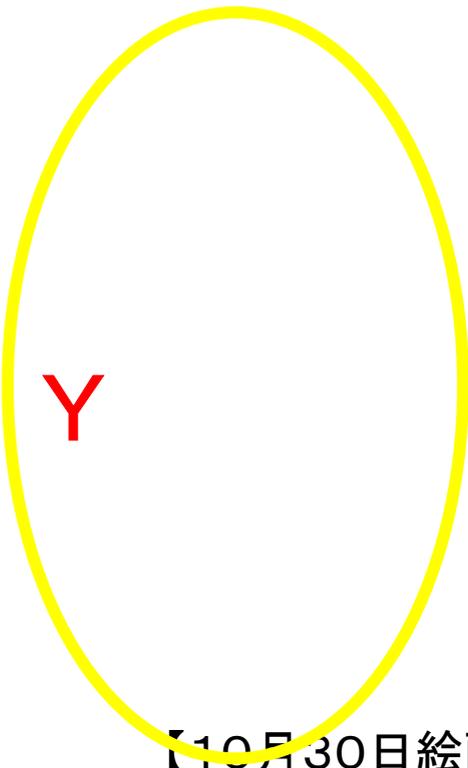
友達からの関わりに対して、
自分の活動を続けたままで、
応答している。



【2月21日絵画制作の時間】

分析① 3年生

友達からの関わりに対する具体的事例



N

<Y・・・本人, N・・・友達>

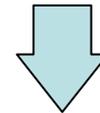
N:正直いうよ。

何でこんな似てるの二個も書くの？

Y:これは, 生まれはニューヨークな
のよ～♪こっちにかりかりさん,
で, こっち, がりがりさん。

N:なんだよ。かりかり, がりがりって。

Y:あわせてかりがりさん。

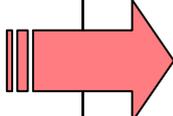


友達からの関わりに対して,

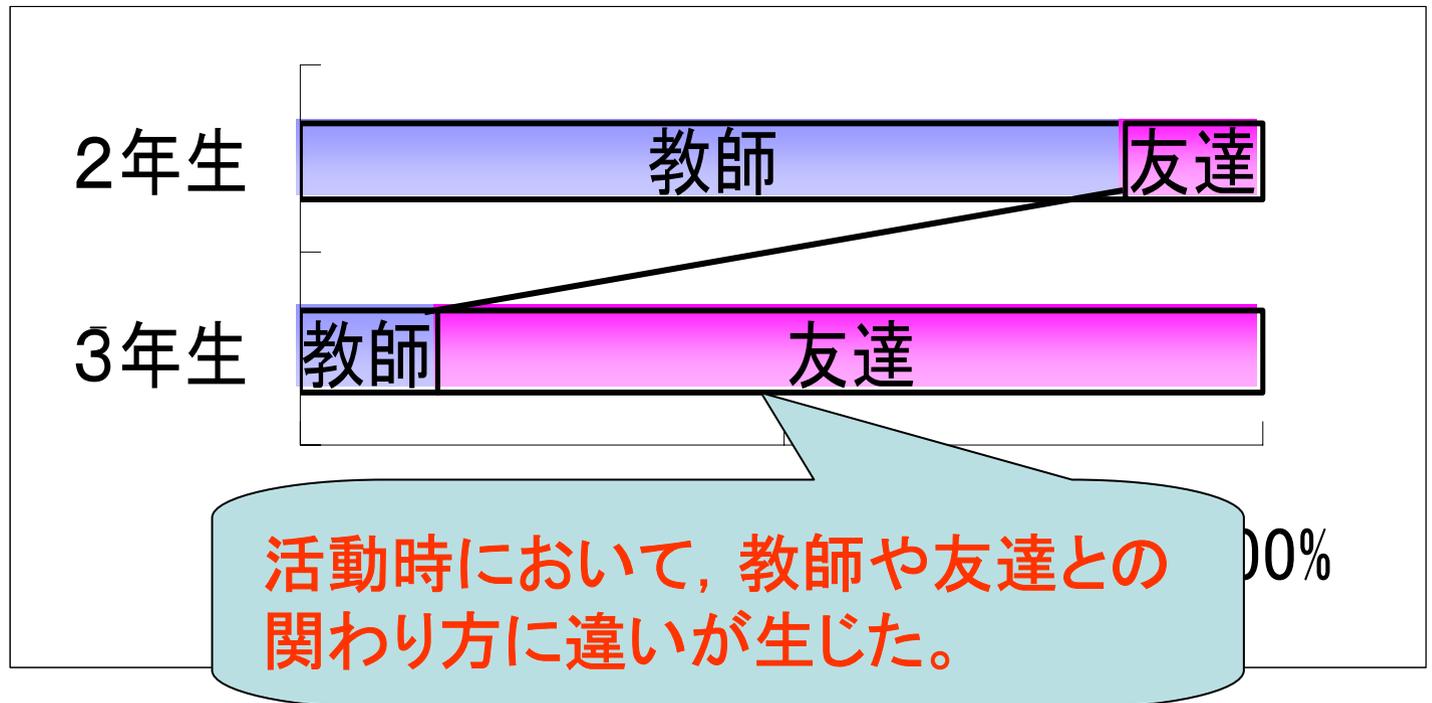
【10月30日絵画制作の時間】**活動の手を止め**, 説明している。

3. 結果 学びの様相の変容

分析② 主に関わる他者の変容

分析	分析内容	小学2年生	小学3年生
①	連続して制作する平均時間	5分22秒間	2分10秒間
②	主に関わる他者	教師 	友達
③	友達の作品を見る平均時間	5秒間	34秒間

分析② 主に関わる他者の変容



【図 自分の作品を見せる相手の割合】

分析② 2年生

他者と関わる具体的事例～教師編

＜自分の作品を見せにいく場面＞

教師

Yさんの作品を見て～！
こうやって、どんどん作っ
てね。がんばったね。

先生～、
ほら。

みんなの前で
誉められた！

よし!!

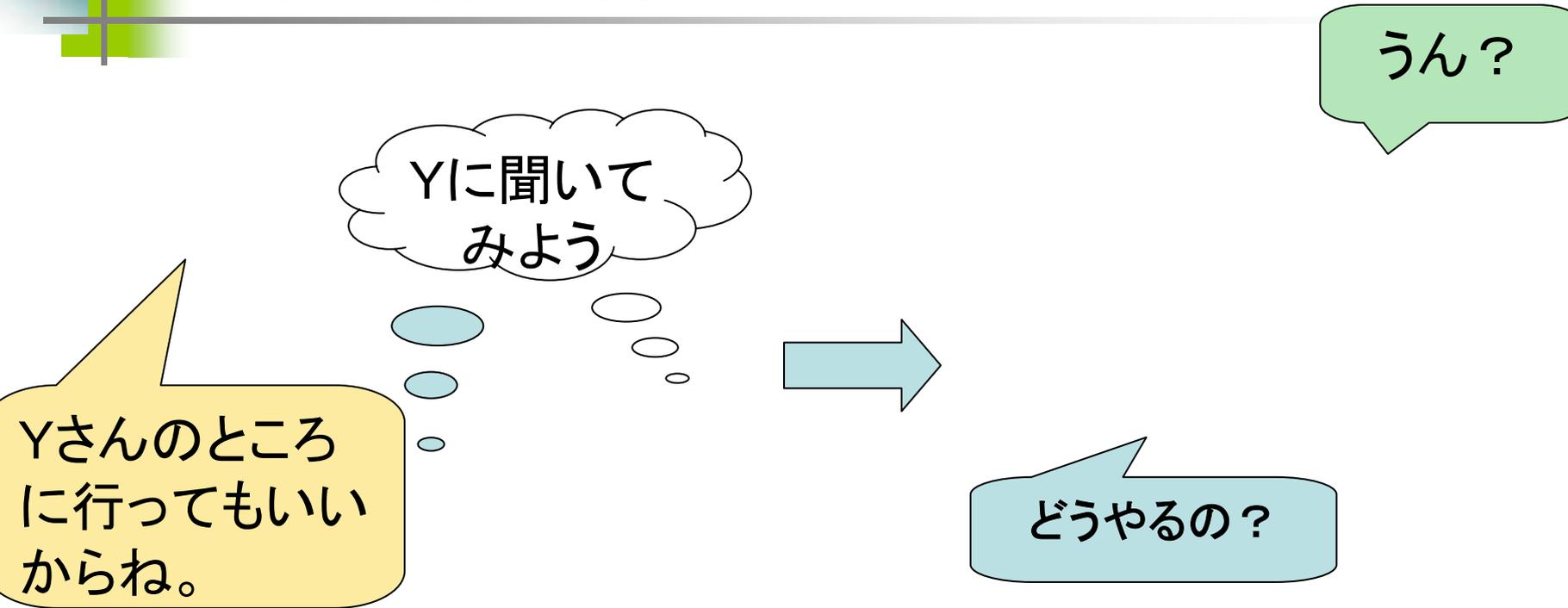
Y

【2月28日工作の時間】

分析② 2年生

他者と関わる具体的事例～友達編

<友達に尋ねられる場面>



【2月28日工作の時間】

分析② 2年生

他者と関わる具体的事例～友達編

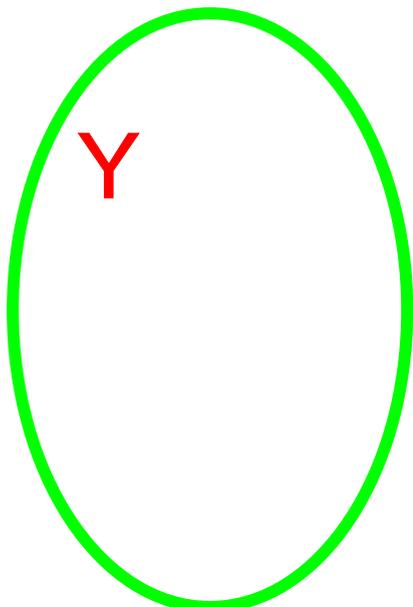
＜友達にキジの色を尋ねられる場面＞

N: キジって何色だっけ？

Y: ん～と、緑とかオレンジとか…。(制作を続ける。)

N: 先生、キジって何色？

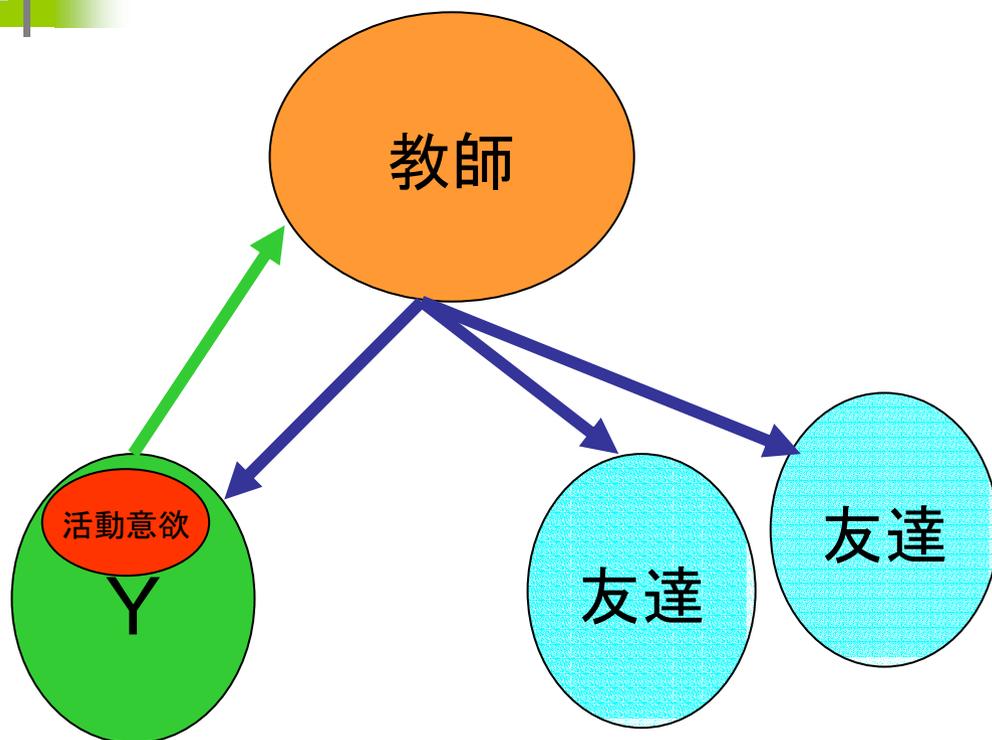
T: (みんなに向かって、)
キジって何色だっけ？



【2月21日絵画制作の時間】

考察② 2年生

他者と関わる学びの構造

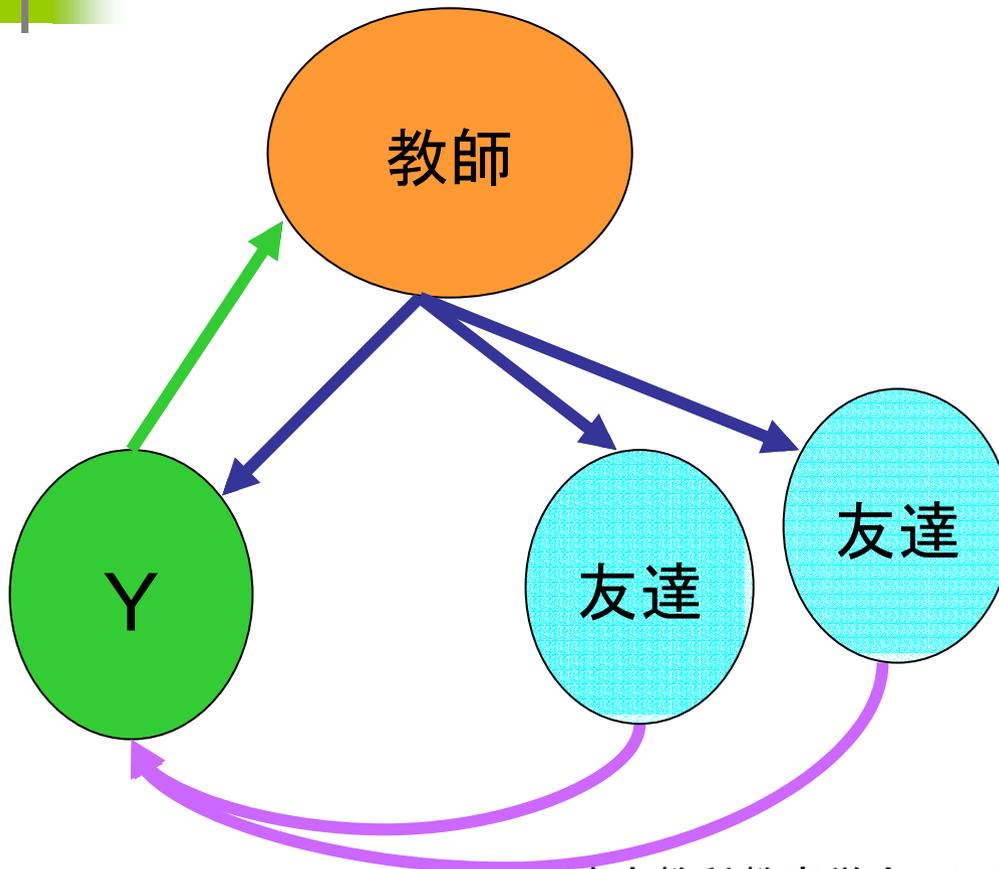


<特徴>

- ・制作の途中で、教師に見せに行く。
- ・教師によって、自分の作品をみんなの前で賞賛される。
- ・教師に賞賛されたことにより、活動意欲を満たしている。

考察② 2年生

他者と関わる学びの構造



<特徴>

・教師が作品を紹介することにより、**間接的**に見られる。

・教師の賞賛により、**直接**、尋ねてくる友達も存在する。

分析② 3年生

他者と関わる具体的事例～教師編

＜2枚目の絵に取り掛かる前の場面＞

教師

はい。みんなの
学校生活の様子
だからね。

先生～，（学校生活
の絵には，）必ず，人
間を書くの？

Y

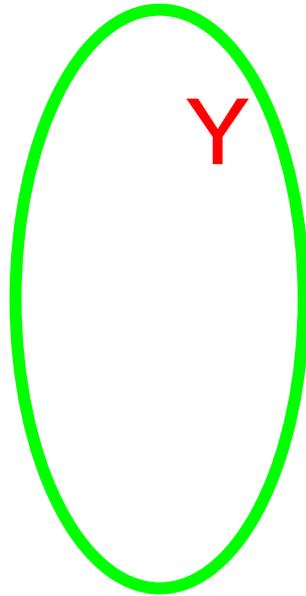
【10月22日絵画制作の時間】

分析② 3年生

他者と関わる具体的事例～友達編

<かなちよろを見て絵を書いている場面>

I



Y: よく見ると、爪あるよ。

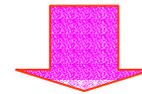
I: (立ち上がり、虫かごを見る。)

うそ～。

Y: すげえ、いいところだよね。

I: できた～。かなちよろ。

イエイエイ。



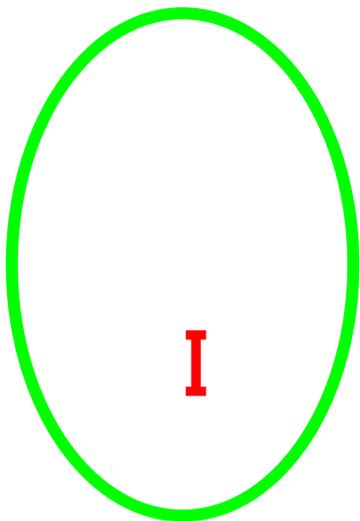
対象物についての知識を
共有し、相互に学び合っている。

【10月15日絵画制作の時間】

分析② 3年生

他者と関わる具体的事例～友達編

<2枚目の絵を書く場面>



Y

I: バスケットボールのシュート
しているところにしよう。

Y: おれもバスケットボールの
絵にする。

おれ、(紙を)縦にする。
バスケットで縦。

I: おれも縦にしようかな。 (Yの
絵を見て、) 意外にうまいし。

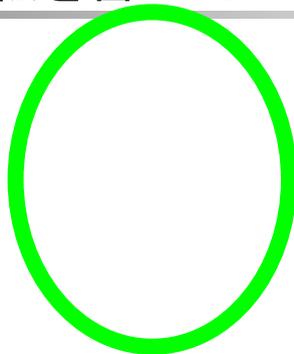
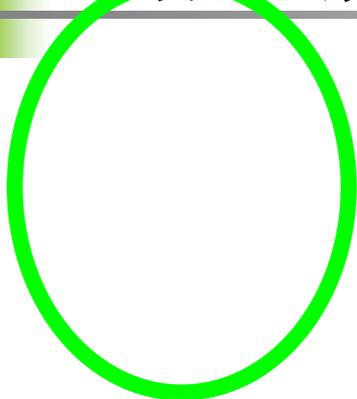
Y: こうやって…。

【10月22日絵画制作の時間】

分析② 3年生

他者と関わる具体的事例～友達編

＜友達Iの顔の絵を書いている場面＞



A: うめえじゃん。Iちゃんらしい。

Y: あと, 適当だ。(少し微笑む。)

B: Y, 先輩だあ。

A・Bが立ち去ってから・・・

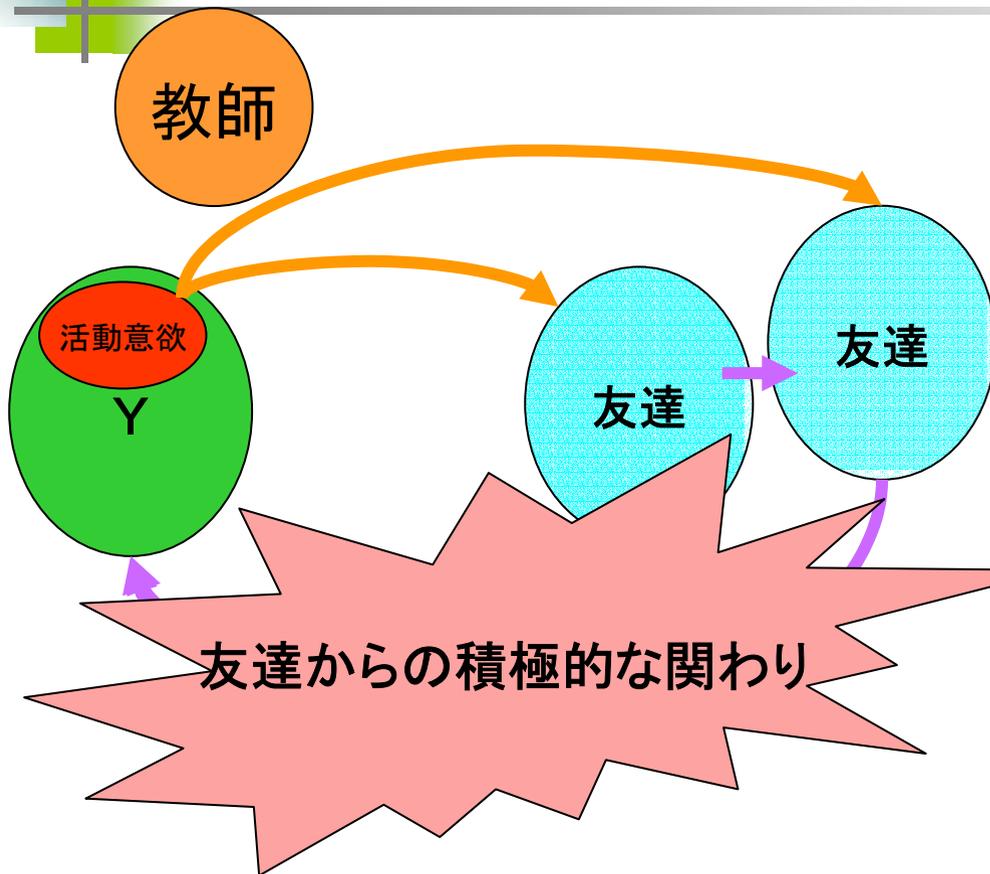
Y: よし。Iちゃんらしく, なってきたぞ。こっちの方がいいな。

Y

【10月7日絵画制作の時間】

考察② 3年生

他者と関わる学びの構造



<特徴>

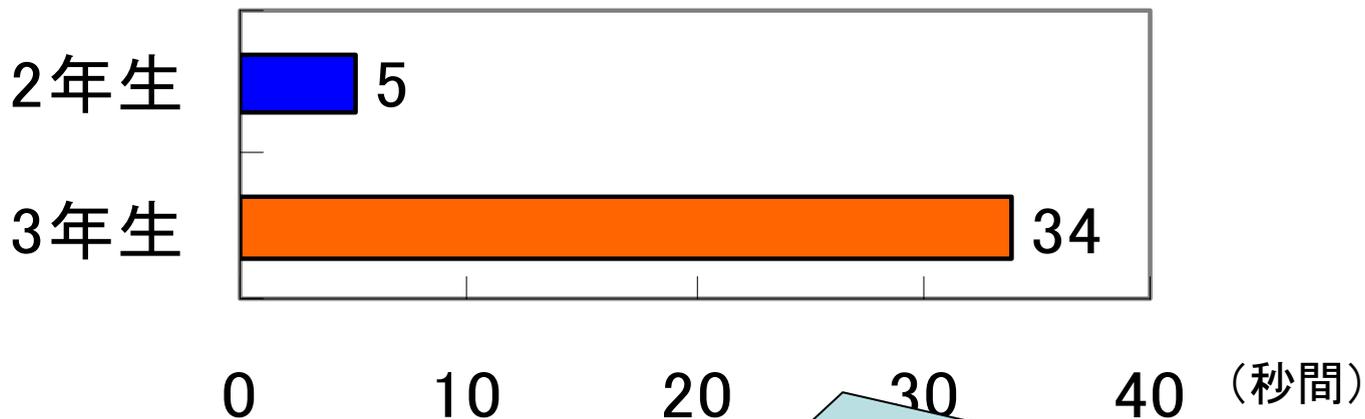
- ・友達から直接、**賞賛・助言**及び**感想**をもらう。
- ・児童Yの作品の良さを**他の友達**に広められ、さらに**友達からの関わり**がある。
- ・積極的な関わりにより、**活動意欲**を満たしている。

3. 結果 学びの様相の変容

分析③ 友達の商品を見る時間の変容

分析	分析内容	小学2年生	小学3年生
①	連続して制作する平均時間	5分22秒間	2分10秒間
②	主に関わる他者	教師	友達
③	友達の作品を見る平均時間	5秒間	34秒間

分析③ 友達の作品を見る時間の変容



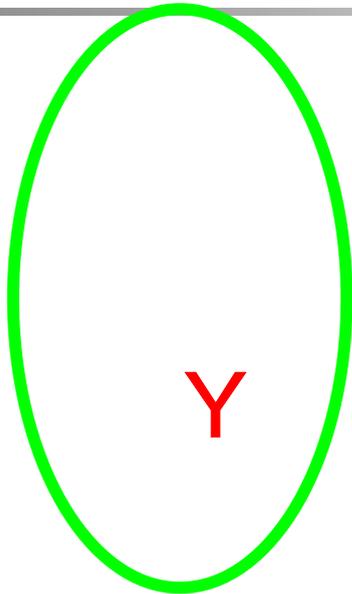
※制作に関する会話時間含む。
【図 一授業時間あたり友達の
作品を見る時間(秒間)】

友達の絵を見る態度に
変化が見られた。

分析③ 2年生

友達の作品を見る具体的事例

＜友達Nがいない時に絵を見た後の場面＞



Y: 肌色と白が混ざれば・・・。
(自分の作品の色作りを続ける。)

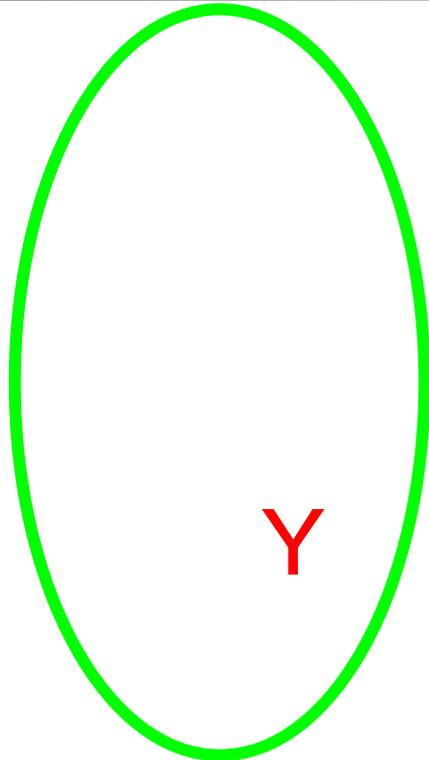
友達がいなくても、
一人で絵を見ている。

【2月21日絵画制作の時間】

分析③ 3年生

友達の作品を賞賛する具体的事例

＜友達Aの絵を見ながらコメントする場面＞



A: できた～。疲れた～。

Y: でもいいよね。こういうスプレーみたいなのやつ。

B: ペイントのスプレーみたいね。

Y: あーパソコンのね。

(自分の制作に戻る。)

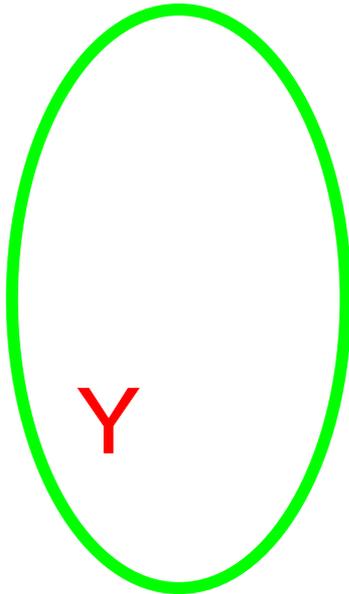
**友達の絵を見て、
会話している。**

【10月15日絵画制作の時間】

分析② 3年生

他者と関わる具体的事例～友達編

＜友達の色作りに反応している場面＞



I: 紫入れよう。

O: 紫は白と青。

Y: 紫って、赤と青だ。

I: 赤と青？白と赤？青と白？

Y: 赤と青って言ったじゃん。

I: こんな感じでいい？

Y: (チラッと見て,) うん。

I: いいかも。いいじゃん。

Y: きれいな色だね。

【10月15日絵画制作の時間】

分析③ 3年生

友達の作品を手伝う具体的事例

<友達Iの絵を見た後の場面>

Y

友達の作品制作に
協力している。

Y: 足りなかったら、ここから入
れてもいいからね。

I: サービスカウンター、お願い
します。

Y: ありがとうございます。

I: はい。

Y: 足りなかったら、ここから
とってね。

(絵の具が)多すぎたかな。

3. 結果 学びの様相の変容

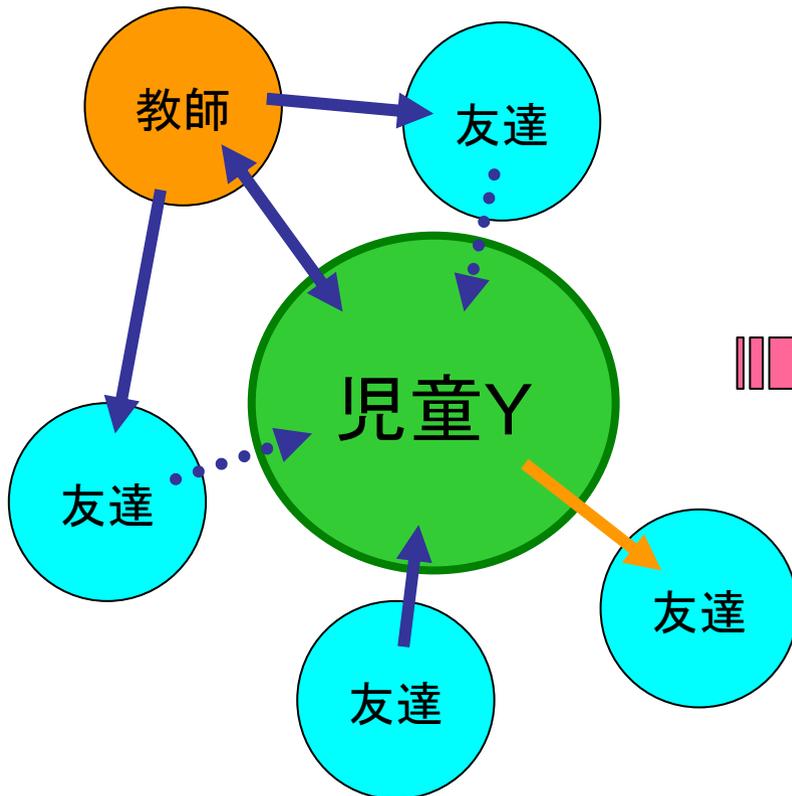
分析の視点

分析	分析内容	小学2年生	小学3年生
①	連続して制作する平均時間	5分22秒間	2分10秒間
②	主に関わる他者	教師	友達
③	友達の作品を見る平均時間	5秒間	34秒間
④	友だちとの関わり		

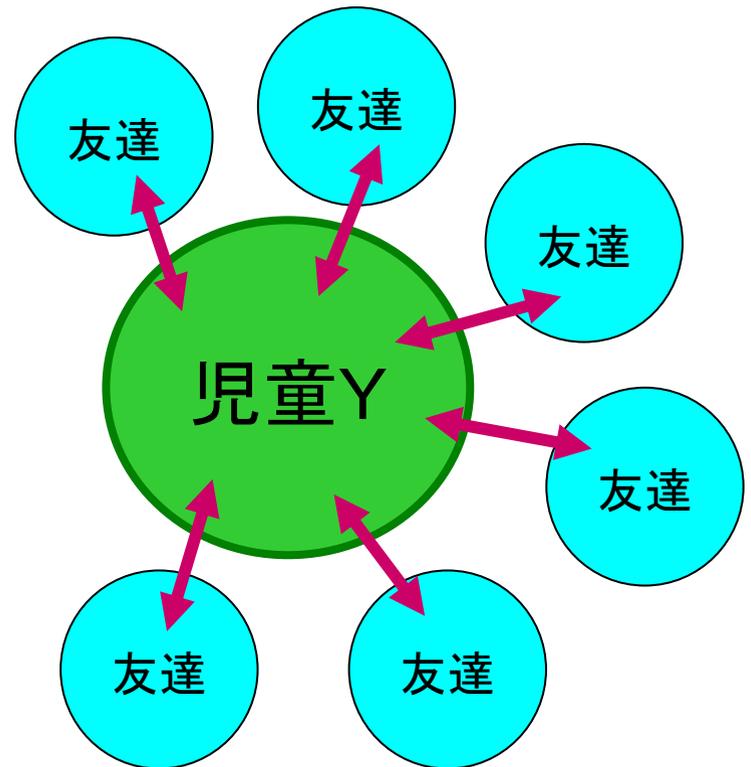
3. 結果 児童Yの学びの変容

考察④ 友達との学びの構造

《一人学び》

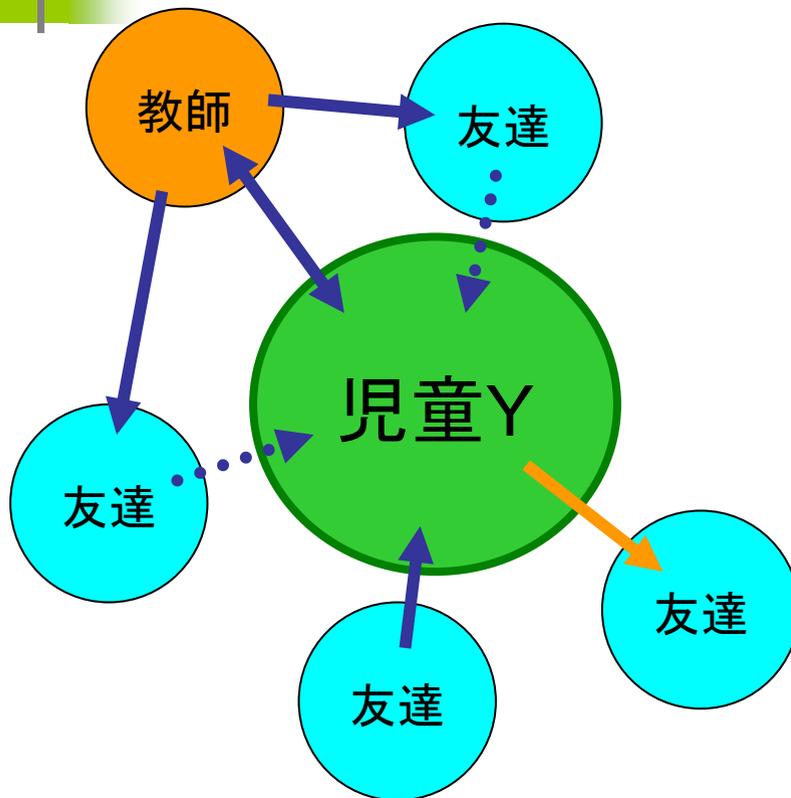


《他者と関わり合う学び》



考察④ 2年生

一人学びにおける友達との関わりの構造



← 児童Yへのアプローチ

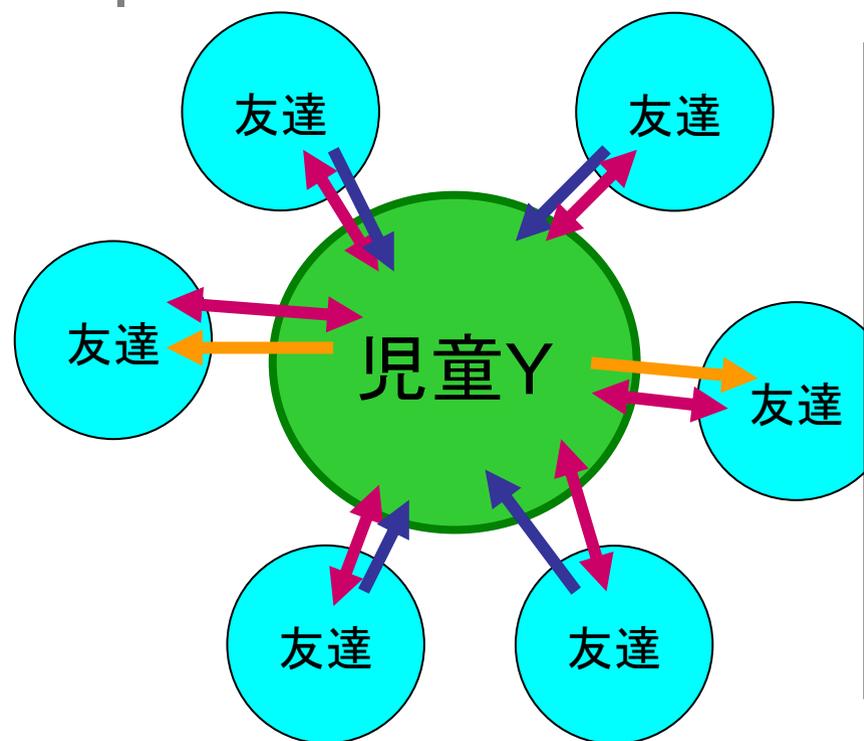
- ・教師を介し, **間接的**である。
- ・友達が技法を尋ねるなど, **一方向的**の内容である。

← 児童Yからのアプローチ

- ・特定の友達の作品を見る。

考察④ 3年生

友達と相互に関わる学びの構造



児童Yは、友達と相互に認め合う学びを行っている。

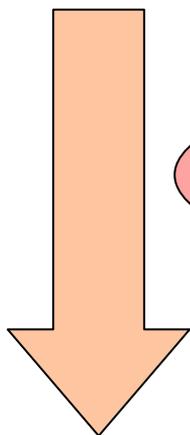
制作を手伝う。

4. 全体の考察

- 児童Yは、友達から自分の作品を賞賛されたことをきっかけとし、自分の活動意欲及び友達への関心を高めたと言える。
- 友達の制作活動に興味や関心を持って関与し、学んだことを自分の作品に生かそうとしている。
- 一般に、子どもたちにとって、友達の積極的な関わりは、活動意欲を促進すると考えられる。

5. 結論

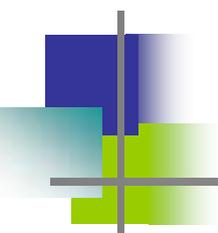
一人学び



友達からの積極的な関わり

友達と互いの制作活動を認め合う学び

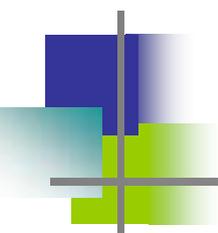
5. 結論



児童Yは、低学年では没頭する一人学びであったが、中学年では友達と互いの制作活動を認め合う学びに変容した。

その主なきっかけは、
友達からの積極的な関わりである。

6. 今後の課題



- ① 友達の作品を見る行動を、鑑賞という視点から、児童Yの学びを分析する。
- ② 児童Yの他教科との関わりを同様の視点から追跡する必要がある。